

2020 10/13

No.2124

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



芦ノ湖のワカサギ漁が1日、解禁となった。芦ノ湖漁業協同組合が出漁し、刺し網を引き上げると、たくさんの銀鱗（ぎんりん）が輝いた。



contents

視点点描	3
読むだけで登山気分	
講演録	4
新型コロナ 医療現場からの報告 横須賀共済病院病院長 長堀 薫	
講演録	7
菅新政権と解散総選挙に行方 ジャーナリスト 後藤 謙次	
国際	10
今後の国家像をめぐる攻防 米大統領選が問いかけるもの	
国際	14
コロナ禍の影に隠れた尖閣危機 中国の「加大執法力度」戦略	
アジアの風	17
厳しい防疫措置で比に広がる飢餓	
文化	18
ヒットのカギは「わかりやすさ」 コロナ禍、出版業に潮流変化	
くらし2020	20
コロナ禍でがん発見遅れ懸念	
企業最前線	22
工事不要の家電商品が快走 「おうち時間」増も追い風	

【名義変更】▽神奈川県：兼子良夫理事長・学長（牧内良平理事長）=9月23日

【カレンダー配布調査】神奈川県政経懇話会では2021年のカレンダー配布希望調査を行います。ご希望の方は同封の申し込み用紙を事務局ファクス045（226）2122にご返送ください。締め切りは10月24日です。ご協力をお願いします。

【お知らせ】神奈川県政経懇話会ではホームページ（www.kanagawa-seikon.jp）に会員コーナーを設けました。新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな情報を掲載します。問い合わせは事務局 ☎045（226）2121。

視点 点描



読むだけで登山気分

今年6月から毎月第2、第4土曜日に、神奈川新聞紙面に「かがわ百名山」という連載を掲載している。小説家・登山家の深田久弥「日本百名山」にあやかっ、県内のバラエティー豊かな100の山を2山ずつ紹介している。選定・執筆するのは横浜市内の山岳グループ「葉月山の会」に所属する樋口一郎さん。登山専門誌「岳人」に「新釈ニッポン百名山」

「神奈川県で100の名山を選ぶ

を連載するなど、これまでに健康筆を振るってこられた。深田が1960年代に出版した「日本百名山」は、現在まで長く続く人気となっている。触発されるように山岳県では県単位の百名山を選ぶケースも多い。信州百名山、ぐんま百名山、山梨百名山、栃木百名山といった具合だ。30年以上山歩きを続ける私自身、

の難問を解決するため、「標高が

（神奈川新聞社厚木支局長

石本 健二

としたら」と考えることがある。江戸時代からたぐさんの参詣者を集める大山、登山の入門コースとして人気の丹沢の山々、火山・温泉・湖と楽しさが詰まった箱根といった具合に数えると、20から30程度は思いつきそうだ。しかし、100山となると「うーん」と考え込んでしまう。

やはり、南北アルプスや上越の山々を抱える長野、山梨、富山、群馬といった山岳県と比べれば、神奈川勢の標高は低く、数も少ないことは否めない。「日本百名山」で深田は標高1500以上を1つの基準にしたというが、神奈川県内では最高峰の蛭ヶ岳でも標高1673メートルとどまる。そんな状況のためか、県や地元山岳団体などが関係して「神奈川百名山」を選んだという話は聞かない。

樋口さんと葉月山の会では、この難問を解決するため、「標高が高くて登りがいのある丹沢など本格的な山を選ぶ一方で、家族連れでもすぐに行ける低い山、都会の山や丘も選ぼう」と考えた。その結果、選ばれたのは県内最高峰の蛭ヶ岳から、三浦半島の標高わずか15メートルほどの岬や、猿島、江の島などの島までバラエティー豊か。聞いたことがない山々が、数多く並んだ。

この連載には読者から、「もう山に登れないけど、紙面で山々を見るのが楽しみ」といった声もいただいております。さまざまな方に愛読されていることを実感する。

月に2回、2山ずつの掲載ペースなので、100山すべてを掲載するには、ほぼ2年間かかる見通し。読むだけでも県内の個性豊かな山々を登った気分になれる連載を楽しんでください。